

平成30年度第2回マンションを中心とした改修工事における ココが知りたい！セミナー 塗装工事編レポート

去る10月11日、広島県建築士事務所協会建築サロンにて、「平成30年度マンションを中心とした改修工事におけるココが知りたい！セミナー：塗装工事編」が、28社・団体・35名の参加で開催されました。

大規模修繕工事における塗装工事は、その対象物や施工範囲が多岐にわたり、また同じ内容の塗装でも、その対象物の劣化状態や立地環境によって、完成後の仕上がりや耐候性能に影響が現れます。今回は賛助会員のエスケー化研さんに講師をお願いしました。

セミナー前半部分では、塗装の劣化メカニズムや、既存塗膜種類の特定方法、既存塗膜及びその下地状況の判断方法を学びました。特に塗装面積の大部分を占める外壁塗装においては、通常使用される各種塗料の特性や取扱時の注意事項などを学びました。セミナー後半部分では、鉄部塗装について、その塗膜劣化メカニズムから防食方法の基礎を学び、「公共建築改修工事標準仕様書」をもとに、改修工事における素地調整の種別とその重要性、塗装仕様の種別と選定方法、塗替え時の注意事項や不具合の実例について学びました。不具合実例においては、下地の金属の種類を間違えるという基本的なミスの頻発、旧塗膜と新規塗膜の相性（溶剤系の違いによる不具合）の悪さに起因する剥離や縮み、そして適正な塗料の選定と施工の注意点を重点的に学びました。

セミナーの最後は、昨今大規模修繕工事でよく見られるようになった、コンクリート打ち放し部の改修における検討ポイント、既存下地の判断、既存クリヤー膜の劣化状況判断を学びました。シンプルに見えるコンクリート打ち放し部は、改修工事においては想像以上の下地・旧塗膜状況と種別の調査、改修工法の選定がとてもシビアであり、大変困難であるということを知りました。

セミナー後の質疑応答では、別の機会での個別指導の希望などもあり、また受講者アンケートでも塗装工事に関する意識が変わったなどのご意見もあり、開催した意義を大きく感じることが出来ました。

次回の大規模修繕工事における各種工種を対象にした「マンションを中心とした改修工事におけるココが知りたい！セミナー：建具改修工事編」は12月6日に建築サロンで開催されます。残席わずかですが、ご興味のある方は事務局までお問い合わせください。



お問い合わせ先 広島県建築士事務所協会 事務局 082-221-0600